

# 第5次東京都保健医療計画の目標とこれまでの取組

資料6-4

第5次東京都保健医療計画で掲げた目標	目標実現に向けた主な取組
<b>【目標1】 災害医療コーディネーターを中心に情報連絡体制を強化する</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を集約一元化する情報連絡体制の構築</li> <li>・複数の通信手段の確保 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域単位や医療機関の役割分担に基づいた情報連絡体制を検討し、ガイドラインへ反映</li> <li>・コーディネーターに衛星電話を配備 等</li> <li>・E M I Sや防災無線を活用した訓練を実施</li> </ul>
<b>【目標2】 医療機関の受入体制や搬送方法など医療救護活動を確保する</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療救護活動の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域災害医療コーディネーターが医療救護活動を統括・調整できる体制の構築</li> <li>・研修・訓練を通じて医療連携体制の構築 等</li> </ul> </li> <li>2 医療機関の受入体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院建物の耐震診断や耐震補強工事の促進</li> <li>・地域の実情等を踏まえた災害拠点病院の整備 等</li> </ul> </li> <li>3 搬送体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・S C U（3か所）の設置に向けた準備</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域災害医療連携会議を開催し、医療圏内の連携体制について検討</li> <li>・医療対策拠点の役割を整理し、ガイドラインに反映</li> <li>・圏域ごとに図上訓練を実施し、災害医療体制の検討・検証を実施</li> <li>・災害拠点病院等に対し、耐震診断をはじめ、新築建替えや耐震補強の支援を実施</li> <li>・被害想定や都内医療機関の収容力等を基に、災害拠点病院を指定</li> <li>・災害拠点病院向けB C P策定ガイドラインを作成するとともに、会議等での働きかけを実施</li> <li>・東京国際空港等に必要な医療資器材等を購入して備蓄</li> </ul>
<b>【目標3】 東京DMATの体制を強化する</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京DMAT隊員を1,000人程度確保できるよう、継続的に隊員を養成</li> <li>・N B C災害に関する資器材の整備や教育・訓練を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京DMAT隊員養成研修と更新時研修を東京消防庁と連携して実施</li> <li>・感染防護衣等を東京DMAT指定病院に配備</li> <li>・N B C災害を想定した訓練を実施</li> </ul>
<b>【目標4】 医薬品等の供給体制を強化する</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卸売販売業者の車両のうち、必要な台数を緊急通行車両として事前登録の実施</li> <li>・関係団体へ災害時有効携帯電話等を配備</li> <li>・区市町村や地区薬剤師会に対して、災害時の医薬品供給体制を整備できるよう支援 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定締結団体に所属する卸売販売業者の車両を緊急通行車両として事前登録</li> <li>・協定締結団体に優先携帯電話とMCA無線を配備</li> <li>・区市町村と医薬品卸売業者の協定締結を支援</li> <li>・都内全薬局の薬剤師を対象とした研修を実施</li> </ul>

取組の成果	
平成25年3月	平成29年4月
<b>【コーディネーターの衛星携帯の配備数】</b> 0 台 ⇒ 27 台（全C○）	
<b>【E M I Sの配備状況】</b> 49.7 % ⇒ 55.0 % <small>（病院のみに配備）</small>	<small>（病院と区市町村に配備）</small>
<b>【図上訓練を実施した圏域数】</b> 0 圏域 ⇒ 12 圏域（全圏域）	
<b>【区市町村災害医療C○数】</b> 19 人 ⇒ 112 人	
<b>【災害拠点病院の耐震化率】</b> 82.9 % ⇒ 92.5 %	
<b>【災害拠点病院数】</b> 70 病院 ⇒ 80 病院 43,349 床 被害想定の上重傷者数：約21,900 人	
<b>【災害拠点病院のB C P策定率】</b> 5.7 % ⇒ 91.3 %	
<b>【S C Uで使用する医療資器材等の備蓄】</b> 0 か所 ⇒ 3 か所（全施設分）	
<b>【東京DMAT隊員数】</b> （平成28年3月時点） 874 人 ⇒ 1,088 人	
<b>【東京DMATの感染防護衣等の配備】</b> 0 病院 ⇒ 25 病院（全指定病院）	
<b>【緊急通行車両等事前届出済証交付台数】</b> 754 台 ⇒ 2,775 台	
<b>【医薬品卸と協定締結した区市町村数】</b> 0 区市町村 ⇒ 53 区市町村	
<b>【研修受講薬剤師数（延べ）】</b> 0 人 ⇒ 11,156 人	